

省工数ユニットの拡充

跡部正則*
山中孝彦*
田川 隆**

New and Improved Cost Saving Products

Masanori Atoke, Takahiko Yamanaka, Takashi Tagawa

要 旨

近年、FA業界で、2007年度問題の熟練作業員減少を発端に、市場からの省工数への要求は、開発・設計段階に留まらず、施工・立ち上げ、運用・保守にまで広がっている。これらの要求に対応するため、“CC-Link”で、ユニバーサルデザイン対応アナログユニット、“MELSEC-Qシリーズ”で、表示機能付スプリングクランプ端子台ユニット及び寿命検出電源ユニットを製品化した。

主な特長は次のとおりである。

(1) 開発・設計段階における省工数化

従来のCC-Linkアナログユニットのチャンネル数を増加することで、システムの大幅なコスト削減・省スペース化を実現した。

(2) 施工・立ち上げ段階における省工数化

CC-Linkユニットへのユニバーサルデザイン(すべての人のためのデザイン)適用及び、表示機能付スプリングクランプ端子台ユニットによる、配線状態の目視確認の実現によって、視認性の向上及び誤配線を防止し、熟練作業員に頼らない配線工数の削減を実現した。さらに、CC-Linkでは伝送速度自動追従機能によって、設定作業の削減を実現した。

(3) 運用の保守段階における省工数化

寿命部品である電源装置に寿命検出機能をつけることによって、稼働中の設備のダウンタイムゼロを実現した。また、ユニットへの2ピース端子台の拡充によって、ユニット故障時の再配線作業の削減を実現した。



省工数ユニット(3種類)の外観

写真は、寿命検出電源ユニット(上左)、表示機能付スプリングクランプ端子台ユニット(上右)、ユニバーサルデザイン対応CC-Linkアナログユニット(下)である。